

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、
国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

＜避難情報等＞		＜防災気象情報＞
警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報※2 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（市町村が発令）
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告（緊急）※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令（市町村が発令）
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（市町村が発令）
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等（気象庁が発表）
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）

＜防災気象情報＞

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

（国土交通省、気象庁、都道府県が発表）

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

Q&A

質問1 防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの？

⇒市町村は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

質問2 避難指示（緊急）は、避難勧告と同じ警戒レベル4に位置付けられたけど、考え方が変わったの？

⇒避難指示（緊急）は、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。避難勧告が発令され次第、避難指示（緊急）を待たずに速やかに避難をしてください。

質問3 洪水で「警戒レベル4相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出たけど洪水のレベルも4から3に下がったということなの？

⇒洪水の危険性が4から3に下がったわけではありません。洪水は4のままで、土砂災害の3が追加されたのであり、その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、
地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

■詳しく知りたい方は

内閣府 防災情報のページ

内閣府 避難勧告

検索

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html



スマホ用
二次元コード

防災行政無線の電話応答サービス ☎82-0228・☎82-0229

放送を聞き逃した場合の手段として、防災行政無線の電話応答サービスの運用をしています。

●問い合わせ先 / 総務課 防災・地域コミュニティ班 ☎82-4111（内線242）

台風シーズンになりました!!



豪雨災害における「早め早めの避難」をお願いします。

津久見市では、早め早めの避難を促すために、「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」の情報を積極的に活用していきます。

じゃあその発令タイミングはどのような場合のときなのか？

・夜間から明け方にかけて大雨警報（土砂災害）が継続する、あるいは大雨注意報が大雨警報に切り替わるような事態が想定される場合には夕方方の明るうちに発令

・強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合等に発令

人的被害を避けるためには早めの避難が最も有効。この「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」が住民の自主避難につながればと思います。一人ひとりの命を守る責任は最終的には自己責任です。

避難の基本は、一定の安全が確保されている指定避難場所への「立ち退き避難」。しかし、避難場所への移動が危険な場合は近隣の親戚・友人の家、または高い建物や頑丈な建物などへ移動することが望ましいです。

さらに、外出すら危険な場合は、屋内でもより安全な2階や、がけから遠い部屋などに移動する「屋内での安全確保」が適切です。

災害情報の有効性を左右するのは市民みなさんによる行動、出される情報を受け取った皆さんが本当に避難等の的確な対応をするかです。

津久見市も今回の出水期から内閣府から示された、下記の「警戒レベル」を用いて情報を発表します。

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

逃げ遅れぜ回へ!

警戒レベル④で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
【警戒レベル】を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から【警戒レベル③、④】が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



【警戒レベル⑤】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。